

CASBEE-建築(新築)2016年版
株式会社ホンダカーズ鳥取 U-Select店

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.7	
Q1 室内環境					0.36	-	-	2.8	
1 音環境				2.6	0.15	-	-	2.6	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-		
1		開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-		
2		界壁遮音性能		-	-	3.0	-		
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				2.8	0.35	-	-	2.8	
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1		室温		3.0	0.43	3.0	-		
2		外皮性能		3.0	0.22	3.0	-		
3		ゾーン別制御性		3.0	0.36	-	-		
2.2 湿度制御				2.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0	
3.1 昼光利用				3.0	0.38	-	-		
1		昼光率		3.0	0.35	3.0	-		
2		方位別開口		-	-	3.0	-		
3		昼光利用設備		3.0	0.65	3.0	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.18	-	-		
1		昼光制御		3.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度				3.0	0.09	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	0.35	3.0	-		
4 空気質環境				3.1	0.25	-	-	3.1	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1		化学汚染物質		F☆☆☆☆の建材を使用	4.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気				2.3	0.30	-	-		
1		換気量		1.0	0.40	3.0	-		
2		自然換気性能		自然換気経路の確保	4.0	0.19	3.0	-	
3		取り入れ外気への配慮		3.0	0.40	3.0	-		
4.3 運用管理				2.0	0.20	-	-		
1		CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-		
2		喫煙の制御		3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.7	
1 機能性				2.5	0.40	-	-	2.5	
1.1 機能性・使いやすさ				2.6	0.40	-	-		
1		広さ・収納性		3.0	0.19	3.0	-		
2		高度情報通信設備対応		1.0	0.19	3.0	-		
3		バリアフリー計画		3.0	0.61	-	-		
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30	-	-		
1		広さ感・景観		事務室天井高2.7mを確保	4.0	0.33	3.0	-	
2		リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-		
3		内装計画		1.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-		
1		維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2		維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.5	0.30	-	-	2.5	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1		耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-		
2		免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.6	0.30	-	-		
1		躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-		
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
6		主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				1.2	0.20	-	-		
1		空調・換気設備		1.0	0.20	-	-		
2		給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-		
3		電気設備		1.0	0.20	-	-		
4		機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-		
5		通信・情報設備		1.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 空間のゆとり		3.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性		3.2	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性	設備更新スペースが設けられている	4.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.34	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.76	3.5	0.50	-	-	3.5
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	木質系セメント板、屋外用品(エクステリア)	4.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分離可能	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	建具廻り・ガラスシーリング材に有害物質が含まれていないものを	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤未使用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮	LCCO2概算値 排出率76%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	車両出入口を2箇所確保し、敷地周囲の交通に配慮	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		-	-	-	-	
1 騒音		-	-	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.67	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		2.3	0.33	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	